



市報

あくね

第164号

昭和35年

10月1日発行



10月のこよみ

- 1日 国勢調査
- ・ 换出制国民年金受付始める
- ・ 共同募金
- 2日 牛深市対親善大育大会
- 4日 里親の日
- 5日 仲秋の名月
- ・ 文部省小中学カテスト
- ・ 赤ちゃん検診コンクール
- 15日 青少年団体卓球 排球大会
- 17日 貯蓄の日
- 中旬 施肥合理化対策事業研修会
- 23日 靖國神社秋例大祭
- 23日 電気通信記念日
- 24日 国連記念日
- 29日 中学駅伝大会

今月号には
こんなことが

親も子も孫も
調査の仲間入り

2頁

阿久根市の人口は何人でしょうか

2

赤ちゃん検診

3

普通局に昇格

3

おすすめですか

3

お母さんの便りが

3

待ち遠しい

3

農村生活改善は大躍進級で

4

肱岡清美君を表彰

4

町から村から

4

肥り過ぎが多い

5

三笠中から五人も健闘優良児

5

小中学校運動会日期

5

老人はいつもいたわりましょう

5

農事メモ

5

農地相談室

5

(赤い羽根)

貧しい人、困った人に
あたたかい心を

共同募金

10月1日より 10月31日まで

親も子も孫も

国勢調査

調査の仲間入り

十月一日には、全国いつせいに昭和三十五年度国勢調査が行なわれます。この調査は国の行政の基礎をつくるために、国民ひとりひとりについて調べられる大切な統計調査であります。

国際的なもの

国連が勧告する基準や方法を尊重して企画立案されており、こども大がかりな基本的統計調査であります。

第一回調査は大正九年に始められ、以後十年ごとに大規模な調査を、その中間に五年目に当る年に、簡易な方法による調査を行なつてきました。

国際連合経済社会理事会は、各國の国勢調査の結果から、世界人口に関する情報が得られるようになつた調査結果の各国比較ができるようになります。

出稼先からは連絡を

人団が勧告する基準や方法を尊重して企画立案されており、こども大がかりな基本的統計調査であります。



んでいる人のことですが、「ふだん」という意味は、ここでは「三ヶ月以上」ときめてあります。したがつてこの調査の対象となる人は

△すでに三ヶ月以上住んでいる人△まだ三ヶ月にならないが、調査日（十月一日）の前後を通算して、三ヶ月以上住むことになつていている人。

△一時不在の人でも、不在期間が三ヶ月にわららない人。
しかしこのようにつめてあつても、実際にはやはり、困る場合がおこると思います。たとえば出稼

に出でていつていつ帰つてくるかわからないよう

なときは、「出稼ぎ先で申告するから、そちらでは申告しなくともよい」といふ連絡を留守宅に出すような、積極的な協力を

お願いしたいと思ひます。

また入院患者や船員などの場合は、その

調査場所をはつきりと決めて、その旨調査票にも記入するように注意してあります。

調査は各世帯ごとに作成する調査票を用いて行なわれますが、生計を別にしている同居人や下宿人などは、同じ家に住んでいても、それ／＼別の世帯になりますので注意して下さい。

調査はまず調査日（十月一日）の前、九月二十四日から三十日までの間に、調査員が各世帯を訪問して調査票をくばりますので、世帯主は調査票のいろいろ細かい注意事項を読んで、「世帯主が記入する欄」と「おぼえがき欄」を書いていてください。

つぎに十月一日から三日までの間に調査員が各世帯を再度訪問し各世帯で記入してもらった調査票

を集めながら、調査員が各世帯員の仕事や住宅に関する事や、家計の収入の種類などについておたづねします。

なお、統計法により申告を義務づけてあると同時に、調査員には申告者の権利を保護するように命じてあります。すなわち調査票は

阿久根市役所統計係では四一、一八〇人でした。

「ヒント」

昭和三十年の国勢調査では四一、一八〇人でした。

▲申込先き

阿久根市役所統計係

▲申込期日

阿久根市役所統計係

▲申込期日

阿久根市役所統計係

▲申込期日

阿久根市役所統計係

▲申込期日

阿久根市役所統計係

▲申込期日

阿久根市役所統計係

阿久根市の
人口はいくら
でしょうか？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

？

コンクールと

赤チヤン検診

● 検診日時場所
10月5日 大川出張所
10月6日 もとの駒本登記所

乳児の発育不良や身体障害を早めに発見するため、次のとおり

無料健康検査を行ないます。これ

は赤チヤンコンクールの審査も兼ねますので、一人もれなく参加し

~ましよう。

◆ 対象者

昭和34年7月1日から昭和35年6月30日まで生れた乳児



普通局に昇格

阿久根郵便局

明治五年七月一日三等郵便局として出発した阿久根郵便局も、現在は職員六〇名の九州管内では最大の新定局となっていました。

こんど十月一日をきして、郵政省直轄の普通局に昇格することになりました、これで県下に普通局は十七局となります。普通局になれば次の点で便利になります。

◇ 郵便窓口取扱時間が、日曜日や休日を除いて午前八時から午後八時までとなります。

◇ 時間外でも、料金後納の日刊新聞や官報・引取時刻証明郵便物連絡郵便物・航空郵便・外国宛郵便物の切手を売ります。

◇ 選舉用官製はがきの交付及び売さばきができます。

◇ これまでラジオの受信料の集金をしていましたが、これから放送局の方で集金します。

おすすめですか
基本選挙人名簿の
登録申請

基本選挙人名簿・海区漁業調整委員会委員選挙人名簿は、毎年九月十五日現在で作成することになります。

つき上つた名簿は十一月五日から十五日間一般の検査に供した上で、十二月二十日をもって確定します。

お母さんの便りが
待ち遠しい

福利厚生の面も愛情をもつて管理されているように見受けられます。

お母さんの便りが待ち遠しい

月十五日現在で作成することになります。

お母さんの便りが待ち遠しい

なお九月から十二月までの三ヵ月間にわたり、契約高一兆円記念講演保険新加入運動が全国的に展開されています。

今年の三月中学校を卒業したみなしの可愛い子もさんは、もも相当ありました。

この子もたちが何よりうれしいのは、なんといつても故郷からの便

なじんでいるだろうか、固つたことはないだろうかと、市内六中学

校の先生方が七月中旬から八月上旬にかけて、北九州、福岡市、大

阪府、岐阜、愛知、静岡、福井の各県にそれらの就職先を訪問さ

れました。その一環をみなさまに紹介いたします。

この会社や工場でも、産業界の人として立派な社会人に育つよう

お母さんの手紙が一番よいらしい

です、こうした故郷を忘れない子どもたちが、一人前の職業

お母さんとして立派な社会人に育つよう

お母さんの手紙が一番よいらしい

です、こうした故郷を忘れない子どもたちが、一人前の職業

就職列車のあとを訪ねて

三ヵ月後早くも昇

被服や盆踊りコンクール用の揃い

のニカラタを仕立てていました。こ

の子どもたちが働く者の喜びを味わいつつ、農場でのしく育つて

いますのでどうぞ御安心ください。

この子どもたちが何よりうれしいのは、なんといつても故郷からの便

は、なんといつても故郷からの便

は、なんといつても故郷からの便

は、なんといつても故郷からの便



写真前列左より 新町イサ子 尾上アミエ 尾上理恵子 (後列) 児島洋子 花田昭子 磯畠ノリ子

(3)

農村生活改善は

夫婦学級で

山下小組合は、以前より婦人学級があつて、活動を続けその効果を挙げつつありましたが、ちかごろ主人側の方が婦人にくらべて、なんとなくひけ目を感じ、また婦人側も主人の理解なくしては生活の合理化もできないという壁につきありました。

そこで夫婦一所に考えてみようではないかと話がまとまり、さる

八月より仲よく夫婦学級が始まられました。農休日や、いろいろな機会を利用して、畜産や園芸、社会問題、市政などあらゆる方面に勉強しあります。

なかでも夫婦学級を記念して、一日十円貯金を始め、これで小さいながらも生活改善の一助にしようと話がまとまり、さる

これは毎日各家庭に交代で、青



園田夫婦学級も

園田小組合は、二六戸よりなる

阿久根市のモデル部落であります

が、九月一日に同部落の特産であ

るミカンにちなんで、橘(たちば

な)夫婦学級を結成、みかんの増

植を通じて生活改善をはかること

になりました。

同部落は新農山村事業により、

ミカン園地に一二〇万円、共同

防除施設に一二〇万円を投入して

この程いろいろな施設を完成して

います。

その一端を紹介しますと、まづ

共同防除施設は、水頭地に大きな

タンクをえ、調合槽・かくはん

槽・灌漑・ポンプ室を設け、それ

より各人の園まで延長四千メートル

をひねるだけで、調合された

薬剤を散布できるようにしてあり

ます。また各園と水槽間は携帶

竹の貯金筒が持ち込まれ、各家庭

では必ず一日十円を入れて次に

返します、そして毎月末に一同の

前で割られて通帳に貯金されます

これが積り六ヶ月或は一年などと

自家水道などに代り、各家庭の少

さい生活改善から役立されて行く

わけあります。

災害を最小限度に

清美君を表彰



市内婦人会排球大会
一位三笠・二位鶴川内



消防大会
1位 折口
2位 桑原城
3位 多田
4位 須代
5位 尾無
6位 大川



市長重陽旗入を慰問

